

研究支援から社会実装へ。  
Research support & social implementation

# 知識と言語の壁を超える

CG XR

医療、防災、教育 / XR (VR・AR)・3DCG・アプリケーション開発を専門とする会社です。  
「医療VR」、「災害体験VR」の販売・レンタルを行っています。



XR / Metaverse & 3DCG  
株式会社 白獅子

Published / 4.13.2026

## 研究成果を、 社会へ届けるお手伝いをしたい。

株式会社白獅子は、XR (VR・AR)・3DCG・アプリケーション開発を専門とする会社です。医療、防災、教育の分野で、13年にわたり実績を積み重ねてきました。

なかでも力を入れてきたのが、行動変容の促進と検証を目的とした開発です。

研究者・指導者の方々が描くイメージを、視覚化・体験化という形で具現化してきました。

単にコンテンツや映像をつくる制作会社との違いは、研究者の方々と13年間、研究の指針を共有しながら伴走してきた点にあります。

科研費の範囲内での対応はもちろん、予算が限られる状況でも、できる限り柔軟に進め方を考えます。

私たちが大切にしているのは、研究者・指導者の方々の取り組みが、社会と正しくつながり、正当に評価されることです。

そのために必要なソフトウェアをつくり、共に歩む—それが白獅子の使命です。



私たちは、研究知を、可視化し、体験化し、社会実装可能な形へ整える。それが白獅子の研究支援です。



### 1 可視化

言葉や静止図だけでは伝わりにくいものを、理解しやすい映像・図解へ整えます。

### 2 体験化

「知っている」ではなく「実感できる」体験を、VR・AR・MRで設計します。

### 3 社会実装

教育、研究、説明、導入のための表現へ落とし込み、現場で使われる形へ整えます。

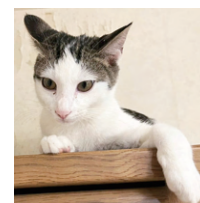
研究や教育の価値を最もよく理解しているのは、研究者、指導者の方、ご自身です。私たちはその価値に対して誠実であるために「表現の精度」にこだわります。



白社長



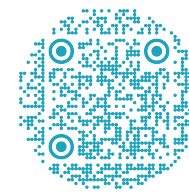
奈義副社長



ピアンカ人事部長



マイケル営業部長



白社長地上波初登場！

▶「白獅子」は、白い猫との物語から始まる。白社長と共に、私たちと一緒に白獅子を支える猫さんたち。

理解の共有から行動変容まで。

研究知を社会に届く体験へ置き換え、白獅子は研究者・医療者・教育者の皆様と伴走します。

要件定義 ▶ デザイン (設計) ▶ 可視化 ▶ 体験化 ▶ 実装まで、一気通貫で支援する。

### 3DCG可視化 3DCG visualization

病態、術式、内部構造、装置、工程、災害発生・挙動など、言葉や静止図、撮影動画だけでは伝わりにくいものを、理解しやすい映像・図解へ整えます。

高精細4K～8K映像(60fps以上)、リアルタイム3Dも対応します。

### XR体験設計 XR experience design

XR(VR・AR・MR)の技術を用い、患者視点、災害時の判断、教育訓練、危険の自分ごと化など、「知っている」ではなく「実感できる」体験を設計します。

行動変容 ▶ 習慣化を目的とした設計が特長です。

### アプリケーション開発 Application development

VRゴーグル(HMD)、PC、タブレット、スマートフォン、WebGL、展示端末など、利用現場に応じたインタラクティブな仕組みを実装します。

センサー連携・データ収集・複数人同時ログイン可能な、メタバース空間開発にも対応。

### 研究データの実装 Research data implementation

論文、図表、CT/MRI、CAD、点群、観察記録などをもとに、教育・研究・説明・導入のための表現へ落とし込みます。

科研費・補助金の枠内での開発相談にも対応。  
納期についても、お気軽にお問い合わせください。

研究知  
Input

▶ 可視化・体験化・実装  
Process

▶ 理解共有・行動変容  
Outcome

研究支援  
事例は、こちらからご覧ください。▶



白獅子は、単にきれいなCGをつくるだけの会社ではありません。  
研究知を、理解と行動へ変える会社です。

What we are not

- × 依頼された内容を表現・納品のみの制作会社
- × 映像の完成度のみを追求する CG 会社
- × 汎用コンテンツのみを販売するシステム会社
- × 自社で制作・開発作業を行わず全て外部委託を行う会社

What we are

- ✓ **課題整理から始める**  
何を・誰に・どの場面で・どう行動に結びつけるかまでを設計します。
- ✓ **伝わり、行動へつながる実装を目指す**  
成果物は映像や XR であると同時に、  
教育モデルであり、研究装置であり、社会実装の入口でもあります。

私たちが目指しているのは、「リスクを管理するための分析」ではなく、「リスクを知り、行動へつながるための実装」です。  
映像や XR コンテンツを開発すると同時に、体験モデルであり、変革装置であり、社会変容の入口を提供しています。

見栄えだけではなく、理解、危機感、判断、行動にどうつながるか？  
そこから逆算して設計すること。それが白獅子が提供する価値の本質です。

■ 制作事例

事例は、こちらからご覧ください。▶



研究機関との連携は、肩書きではなく、設計の深さを支える。

### 岡山大学 × 岡山市消防局

2020年4月～ | 産学官三者連携（全国初）

#### 心理学 × VR で住宅火災による死者をゼロへ

避難行動をデータ化し、行動心理学の知見で分析。VRアプリケーションから行動データ集積する、システムの開発・研究として全国初。



### 京都大学防災研究所

2022年9月～（制作受託） | 2025年9月～JST ムーンショット型研究開発契約締結

#### 災害リスクの身体性認知促進を目的としたVR技術開発

国際最前線の防災研究に体験設計で参画。藤見淳教授との共同開発。



### 東京大学生産技術研究所（目黒・沼田研究室）

2022年10月～ | RC-77 デジタルツイン防災WG

#### RC-77 デジタルツイン防災WG（HazAwareVR 研究開発）

防災を「コストからバリューへ」転換する発想のもと、日常と地続きの防災意識形成を目指す。



### 愛媛大学防災情報研究センター

2025年6月～ | 愛媛大学防災センター長／工学部長 森脇亮教授

#### VR技術を用いた地域防災教育に関する共同研究

体験→解説→実践の学習サイクル設計。西予市・三瓶地区フィールドワーク・行動変容の定量調査まで。



岡山大学 × 岡山市消防局 | 産学官三者連携

## VRを"見せる"のではなく、 避難行動を研究する。

白獅子は、岡山大学、岡山市消防局との三者共同研究により、住宅火災予防に係る研究を進めてきました。

この研究では、仮想空間で住宅火災を体験した際の避難時の軌跡をデータ化し、心理学的観点から分析することで、データ・エビデンスに基づいた最適な避難方法の研究を行っています。

岡山大学はこの取り組みを、VRによる住宅火災被災時における生存率向上を目的とした行動データ集積システムの開発・研究として紹介しています。

白獅子にとって、防災 XR とは演出ではありません。人が災害時にどう迷い、どう止まり、どう判断し、どう逃げるのか。

それを研究し、教育へ還元するための仕組みです。

心理学 × VRで火災による死者をゼロへ  
岡山大学、岡山市消防局、株式会社白獅子との三者間で、住宅火災予防に係る研究についての契約を締結



第30回総務省消防庁防災まちづくり大賞  
「日本防火・防災協会長賞」を受賞。



## これまでの評価

- 内閣官房 国土強靱化レジリエンスアワード 2024『優秀賞』
- 総務省消防庁 第30回 防災まちづくり大賞『日本防火・防災協会長賞』
- 防災・減災 × サステナブル大賞 2024『奨励賞』
- Meta quest アイデアピッチ『優秀賞』

評価を受けたことは、VR技術そのものだけではなく、火災時の適切な判断と行動を促す教育モデルとしての意義です。



- 本研究は産学官三者連携により、「住民の実際の行動・意識」を把握する上で重要な役割を果たしています。コンロ火災を体験することで「消防局による避難広報のあり方が変わった」と担当者が語るほどの効果が生まれています。

## 研究機関との連携は、肩書きではなく、設計の深さを支える。

### 京都大学防災研究所

2022年9月～ | JST ムーンショット型研究開発事業

#### 洪水リスクの"身体性認知"に体験設計で参画

防災教育において、危険性を知ることと、備えようと思うことのあいだには、しばしば大きな隔たりがあります。

白獅子は、こうした研究知見と現場の知見を踏まえ、災害を一人称的に捉えられる体験の設計に取り組んでいます。



京都大学防災研究所との開発・共同研究において、パーティクルシミュレーションと物理演算で、災害現象を科学的に再現。

専門研究者の評価と検証を経たコンテンツは、他社と一線を画します。



#### ● Research evidence — 洪水リスクコミュニケーション研究

3DCGによる洪水動画は備えの意図を有意に高め、脳画像実験では恐怖処理に関連する脳領域(扁桃体)の活性化を引き起こしたことが、示されています。体験的情報は、記述的情報と置き換えられません。

### 東京大学生産技術研究所 RC-77

2022年10月～ | 目黒・沼田研究室 デジタルツイン防災 WG

#### 防災を日常化すること。

防災を「コストからバリューへ」、さらに「フェーズフリー」へ転換する発想のもと、これまでの経験や技術を活かし、メタバースの領域をXRを用いて活用する共同研究、開発を進めています。

災害疑似体験により、単発の驚きを提供するだけでなく、日常と地続きの減災・防災意識の形成が目標です。

### 愛媛大学防災センター

2025年6月～ | 愛媛大学防災センター長 / 工学部長 森脇亮教授

#### 体験を、地域に根づく防災教育モデルへ

「体験→解説→実践」の学習サイクル設計、西予市・三瓶地区における、現地フィールドワーク、行動変容の定量調査まで視野に入れた共同研究。

研究、教育、地域実装を分断せず一つの連続した設計として扱い、地域防災における「自分ごと化、自助・共助」へと結び付けます。

## 『災害体験 VR』

## 防災に尽力する指導者・教育者の方々へ。

「何度説明しても、災害の怖さが伝わらない。」

「訓練に人が集まらない。」

「イメージを、もっとリアルに共有したい。」

消防、自治体、警察、教育機関、企業のBCP担当者—現場で防災に尽力する指導者・教育者の方々は、こうしたもどかしさを抱えています。

白獅子が提供するVR・3DCGは、その方々が長年積み上げてきた知見と経験を、

より多くの人へ届けるためのツールです。

また、世界中の全員へではなく、防災を本気で伝えようとしている人の傍らに立つ—それが私たちの役割です。

京都大学防災研究所との共同研究では、緻密なパーティクルシミュレーションと物理演算で災害現象を科学的に再現。

専門研究者の評価と検証を経た経験を活かした表現は、「正確に再現されている」という点で他社と一線を画します。



## 地域の防災活動を、体験が変える。

全国140以上の団体・自治体・企業で活用。

防災セミナー、訓練、BCP研修、地域イベントなどで120,000人以上の方が体験。

『事故・怪我ゼロ』幅広い現場で導入されています。

## 広島県庁

## 地域防災活動への継続貸出

県庁から地域の防災活動向けに継続的に貸出中。

地域の方が「自分ごと化」として防災を捉えるきっかけとして定着しています。



## 岡山市

## 岡山市消防局でのリース運用

岡山市へのリース（6年目継続中）を通じ、市内の消防局での訓練・啓発活動、

市域全体での継続的な防災教育に活用されています。



## 浜松市

## 地元企業の寄付事業で防災施設へ導入

地元企業の寄付事業を通じて、市内の防災啓発施設で継続活用中。

地域に根づいた防災教育の拠点となっています。



## 大阪市・警察・自衛隊・企業 BCP 他

## 地域防災活動への継続貸出

聖路加国際大学・国際交流センターほか、防災セミナー、

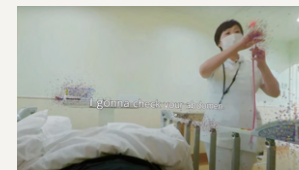
企業 BCP 研修・学校教育・地域イベントなど、様々な場面で活用されています。



医療機関との連携 | 産学共同研究・開発、行動変容・習慣化・災害医療

医療の現場で、**見えないものを体感へ。**岡山大学病院 感染症内科 / 感染制御部  
感染症対策 VR

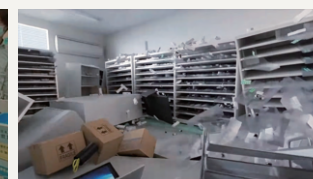
細菌・ウイルスを温度・湿度に応じてリアルタイムに可視化し。  
手指衛生の重要性を体感として伝える教育ツール。

岡山大学医学部保健学科看護学分野  
食道がん術後ケア メタバーズ

患者と医療従事者が同一メタバーズ空間へログイン。  
術後のケアやセミナーを遠隔で実施。場所を問わない継続的な看護支援モデル。

岡山大学薬剤部・大塚製薬株式会社  
薬局 地震・避難体験 VR

震度7強の横揺れを体感し、薬局内から屋外へ避難するまでの状況を再現。  
薬剤師が災害時の判断と行動を体験的に学ぶ教育ツールとして開発。

岡山大学病院薬剤部・株式会社Medswell・沢井製薬株式会社  
「KimBen pharma VR」薬剤師研修 VR

VR空間内で気付きのポイントを判定するインタラクティブな研修ツール。  
薬剤師の実践力向上を、体験を通じて支援します。



世界中の研究者・指導者へ向けて

## 体感が、社会を動かす。

株式会社白獅子は2013年に創業し、3DCG・XR・アプリケーション開発を通じた研究支援を事業の核に、13年以上にわたり活動してきました。

「見えないものが見える形へ、伝わりにくいものを体感へ変える」—この一点にこだわり続けてきた結果、防災・医療・教育・研究開発の各領域で、140以上の団体・機関への販売・レンタル、また「事故・怪我ゼロ」の実績を積み上げています。

私たちが大切にしているのは、技術そのものではなく、その先にある人の変化です。研究者の知見が社会へ届く。指導者のイメージが住民へ伝わる。患者が自分の病気を「自分ごと化」として理解する。その瞬間のために、ソフトウェアをつくり、伴走します。

### Company overview

- 社名 株式会社白獅子（シロジシ）／ Snowlion.Inc
- 設立 2013年（平成25年）
- 代表 代表取締役 春名義之
- 所在 〒700-8530 岡山市北区津島中 1-1-1 岡山大学インキュベータ 214  
〒107-0062 東京都港区南青山 1-20-2（東京広報室）
  - ・東日本支社（仙台）  
仙台BOSAI-TECHからの支援を受け設立準備中（2026年4月現在）
  - ・環太平洋防災推進拠点（高知）  
高知県／高知工科大学の支援を受け設立準備中（2026年4月現在）
- 事業 研究支援開発・VRコンテンツ販売・レンタル

### Track record

120,000名+  
累計体験者数

140団体+  
導入機関数

13年+  
研究支援実績

13年間、120,000人以上の方々にはVRを体験していただき、140以上の団体・機関に導入されてきました。数字の一つひとつが、現場での真剣な問いと、それに応えてきた積み重ねです。

これからも、研究者・指導者の方々と共に、体感が社会を動かす瞬間をつくり続けます。

### Snowlion Navigator Cats



研究支援から社会実装へ。

## 知識と言語の壁を超える。

科研費・補助金対応、NDA 締結、年度内執行など、研究・教育機関の実務に沿って進めます。詳細な事例・動画・開発実績は各 QR コードからご覧ください。

### 白獅子の事業 研究支援・共同開発

研究テーマのイメージを 3DCG・XR で具現化。  
科研費の枠内で提案可能です。



### 防災教育コンテンツ販売・レンタル 災害体験 VR 事例・ご導入

140 団体以上の導入事例。  
コンテンツラインナップ、ご導入方法のご案内。



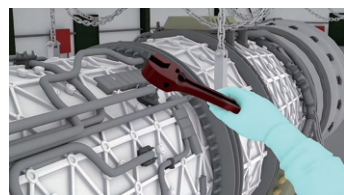
### 医療機関との共同開発 医療 XR 事例

感染症対策 VR・糖尿病体験 VR・食道がん術後  
ケアメタバーズ。共同研究の詳細・開発事例。



### 工場などの危険区域でのリスクマネジメント 労働災害防止 VR

現場の危険作業を VR で疑似体験。  
労働災害の防止、熟練技能の継承を実現。



### ご相談 お問い合わせ・相談

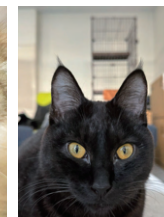
研究支援・共同研究・導入・展示相談はこちら  
から受け付けています。



### 『白社長』と役員・猫秘書たちについて 白獅子の猫さんたち



白社長、小梅秘書、タビ子秘書他、  
白獅子の猫さんたちをご紹介します！



■ VR コンテンツのデモ・無料体験も行なっています。まずは、お気軽にご連絡ください。 [info@snowlion.jp](mailto:info@snowlion.jp) / 086-236-8869

## 「知識と言語の壁を超える」とは。

専門知識は、正確に記述されていても、届かないことがあります。

言語が違えば、さらに届かない。

この言葉は、情報の翻訳ではなく、『体感への変換』を意味しています。

見ることで分かる。体験することで動ける。

その回路を設計することが、私たちの仕事です。

防災の現場で、医療の教育で、研究の社会実装で—  
領域が違って、問いは一つです。



XR / Metaverse & 3DCG  
株式会社 白獅子